

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	908 消防団管理運営事業										
予算科目	01-090102-11 非常備消防運営に要する経費					担当部課	消防本部地域消防課				
市長公約							係名	消防団係			
戦略プラン							新規・継続	継続			
							事業分類	自治事務（義務）			
							事業体制	職員のみ			
個別計画							事業期間	毎年度			
根拠法令等							消防組織法	SDGs	11住み続けられるまちづくりを		

事業の概要

対象	消防団員									
目的	消防団の円滑な運営を図り、市民の安全・安心に寄与する。									
概要 (取組内容)	消防団員の名簿管理、福祉共済、各種報酬等の事務を行う。									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	146, 252	147, 505	163, 828	149, 655	149, 655	
	決算額	(千円)	88, 636	124, 057	144, 498	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	71, 761	100, 342	110, 154	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	16, 875	23, 715	34, 344	0	0
人件費	人件費計	(千円)	5, 222	6, 570	8, 725	10, 106	10, 106	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0. 70	0. 90	1. 20	1. 40	1. 40
		正職員時間外勤務	(時間)	180. 00	180. 00	180. 00	180. 00	180. 00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	消防団員数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1,200.0	1,200.0	1,200.0	1,200.0	1,200.0	950.0
	実績	1,049.0	1,021.0	998.0	961.0	877.0	0.0
	指標の概要	6支団（女性分団含む）					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		新入団員募集について、広報紙やホームページ、区会回覧等で募集を図った。
成果		今年度から、出動報酬額の引上げや交通費を支給し団員の処遇改善を行ったことにより、新入団員23名の入団があった。
課題	業務	団員確保に向け、処遇改善や福利厚生の向上、団員募集の広報等行っているが、団員数は減少している。
	組織、予算等	特になし
改善目標		新入団員確保に向け、引き続き啓発活動等を行う。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	909 消防技術向上事業（各種訓練・操法大会）									
予算科目	01-090102-11 非常備消防運営に要する経費					担当部課	消防本部地域消防課			
市長公約						係名	消防団係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（義務）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画						事業期間	毎年度			
根拠法令等	消防組織法					SDGs	11住み続けられるまちづくりを			

事業の概要

対象	消防団員									
目的	団員としての基礎知識の習得と、災害活動時の対応が迅速かつ安全で正確な動作ができるように各種訓練を計画し、士気向上を図る。									
概要 (取組内容)	新分団長及び入団3年未満団員訓練(本部役員の指導)、幹部団員訓練(本部役員及び消防署員の指導)、消防ポンプ操法競技大会(代表支団が訓練を実施し、県南北部地区ポンプ操法競技大会に参加)、秋季点検(各分団詰所及び機械器具の点検等)を実施する。また、応急手当指導員認定講習及び普通救命講習を受講する。消防団出初式では、永年勤続者等に感謝状の授与、消防団車両による観閲式を実施する。									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	15,533	16,580	13,822	10,984	10,984	
	決算額	(千円)	1,649	2,441	2,788	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,649	2,441	2,788	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	6,683	8,033	12,348	13,681	13,681	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.80	1.00	1.70	1.90	1.90
		正職員時間外勤務	(時間)	500.00	500.00	250.00	230.00	230.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	訓練参加者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	6,070.0	6,070.0	5,000.0	5,000.0	5,000.0	5,000.0
	実績	5,470.0	379.0	578.0	813.0	2,619.0	0.0
	指標の概要	新分団長及び入団3年未満団員訓練、幹部団員訓練、消防ポンプ操法競技大会、秋季点検、応急手当指導員認定講習及び普通救命講習、防火啓発活動、出初式					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		特になし
成果		各種訓練や操法大会に出場し、消火活動等に必要な技術の向上を図ることができた。
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標		特になし

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	910 自衛消防団運営補助事業											
予算科目	01-090102-11 非常備消防運営に要する経費					担当部課	消防本部地域消防課					
市長公約							係名	消防団係				
戦略プラン								新規・継続	継続			
								事業分類	自治事務（任意）			
								事業体制	補助金（直接）			
個別計画							事業期間	毎年度				
							SDGs	11住み続けられるまちづくりを				
根拠法令等												

事業の概要

対象	自衛消防団									
目的	自分の地域は自分で守る自衛消防団に対し、消防機器の点検整備、放水訓練、防災知識の普及・啓発等を実施し、有事の際は適切な災害活動に当たることができるよう支援する。									
概要 (取組内容)	自分たちの地域は自分たちで守るという理念に基づいて、自治会等で組織された自衛消防団の運営と活動に対し、つくば市自衛消防団運営補助金交付要綱の定めるところにより、予算の範囲内で補助金を交付し、地域住民が安心して生活できる防火意識の高揚に寄与する。									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
事業費	予算額	(千円)	540	540	540	540	540
	決算額	(千円)	432	432	375	0	0
	内訳	一般財源	(千円)	432	375	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	684	2,043	1,382	2,072	2,072
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.30	0.20	0.30
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一) 無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	自衛消防団補助金交付団体数 (団体)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	20.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0
	実績	15.0	13.0	12.0	12.0	11.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		特になし
成果		自営消防団登録団体（15団体）に周知し、11団体から補助金交付申請書が提出された。申請のあった団体には実績報告書に基づき自営消防団運営補助金を交付し、自営消防団の充実・強化を図ることができた。
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標		特になし

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	911 消防水利整備事業									
予算科目	01-090103-13 非常備消防施設に要する経費					担当部課	消防本部地域消防課			
市長公約						係名	施設係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（義務）			
						事業体制	一部委託			
個別計画	特になし					事業期間	毎年度			
根拠法令等	消防法					SDGs	11住み続けられるまちづくりを			

事業の概要

対象	消防職員、消防団員等									
目的	消火活動に必要な消防水利の充実を図る。									
概要 (取組内容)	火災消火時に必要な消火栓及び耐震性貯水槽の新設工事及び既存施設の維持管理を行う。 既存消火栓2,557基、既存防火水槽2,016基（令和5年4月1日現在）									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	78,691	67,767	77,495	77,495	77,495	
	決算額	(千円)	20,061	48,055	53,928	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	10,261	48,055	53,928	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	9,800	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,734	6,810	5,672	6,907	6,907	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.40	1.00	0.80	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	60.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	耐震性貯水槽新設数 (基)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1.0	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0
	実績	1.0	1.0	1.0	0.0	1.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		耐震性貯水槽の新設工事について、1基設置することができた。また、老朽化した防火水槽について、修繕を行った。
成果		耐震性貯水槽1基（今鹿島地区）及び消火栓24基を新設した。また、防火水槽の修繕2基、消火栓の修繕10基を行ったことにより、災害に強い消防水利の充実・強化が図られた。
課題	業務	老朽化した防火水槽が増えているため、維持管理に伴う補修工事を継続して実施していく必要がある。土地の利用や所有者の変更により、撤去の要望が増加している。
	組織、予算等	耐震性貯水槽の新設には、国庫補助金（消防防災施設整備補助金）を活用していきたいが、防火水槽新設2基の要望であると申請額が補助金交付基準額に満たないため、他課で同様の補助金を要望する際に一緒に申請を行っていく。
改善目標		消防水利の基準に基づき、耐震性貯水槽と消火栓をバランスよく配置し、現在の充足率の向上を図る。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	－

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	912 消防施設維持整備事業(車庫・詰所等)									
予算科目	01-090103-13 非常備消防施設に要する経費					担当部課	消防本部地域消防課			
市長公約						係名	施設係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務 (任意)			
						事業体制	一部委託			
個別計画	特になし					事業期間	毎年度			
根拠法令等	特になし					SDGs	11住み続けられるまちづくりを			

事業の概要

対象	消防団員
目的	地域の災害活動等を行う消防団車両の保管場所及び分団員の災害対策拠点となる詰所等の良好な施設環境を確保する。
概要 (取組内容)	経年劣化に伴い、老朽化の著しい車庫及び詰所の改築及び維持管理を行う。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	50,941	31,621	62,996	75,130	75,130	
	決算額	(千円)	40,864	23,451	54,400	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	18,364	23,451	16,000	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	22,500	0	38,400	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,050	3,405	2,860	3,454	3,454	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.30	0.50	0.40	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	40.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一) 無	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	消防車両車庫兼詰所建築数 (棟)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1.0	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0
	実績	0.0	1.0	1.0	0.0	1.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		計画に基づいた車庫兼詰所の建設を実施することができた。
成果		災害時に分団の拠点となる車庫兼詰所を島名地区（谷田部支団第8分団）に改築することができた。また、16施設の修繕を行い、良好な維持管理に繋がった。
課題	業務	人件費や材料費の増加に伴い、建設費のコストが上昇傾向となっている。 昭和56年以前の旧耐震基準で建てられたものが10棟以上あるため、年1棟ずつ計画的に更新を行う必要がある。
	組織、予算等	建設に係る人件費や材料費の増加が懸念される。
改善目標		なるべくコストを掛けずに建設を実施できるようにする。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	913 消防車両管理運営事業											
予算科目	01-090103-14 非常備消防車両に要する経費					担当部課	消防本部地域消防課					
市長公約							係名	施設係				
戦略プラン								新規・継続	継続			
								事業分類	自治事務（義務）			
								事業体制	一部委託			
個別計画	特になし					事業期間		毎年度				
根拠法令等	道路運送車両法					SDGs		11住み続けられるまちづくりを				

事業の概要

対象	消防団員
目的	市民の安全で安心なまちづくりを推進するため、消防団装備を強化し、地域防災力の向上を図る。
概要 (取組内容)	消防ポンプ自動車の新規購入及び既存の消防自動車の維持管理を行う。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	47,485	46,967	50,206	51,798	51,798	
	決算額	(千円)	40,429	43,587	45,159	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	10,329	12,387	14,859	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	30,100	31,200	30,300	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,050	3,405	2,194	3,454	3,454	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.30	0.50	0.30	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	50.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	消防ポンプ自動車購入台数 (台)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
	実績	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	0.0
	指標の概要	消防団で使用する消防ポンプ自動車数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		消防ポンプ自動車 2 台を、普通免許保持者でも運転可能な総重量3.5 t 未満の車両に、更新することができた。
成果		車両更新計画に基づき、消防ポンプ自動車 2 台の購入及び28台分の車両の車検を行ったことにより、消防団活動の充実強化を図ることができた。
課題	業務	平成29年 3 月の道路交通法改正により、普通免許の車両重量制限（5 t→3.5 t）が変更になったことで、普通免許で運転できる車両へ変更せざるを得ない。
	組織、予算等	25年以上経過した車両が14台あり、修理費用が増大している。
改善目標		普通免許保持者でも運転可能な総重量3.5 t 未満の消防ポンプ自動車を計画的に配備していく。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	－

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	914 水防訓練(水害対策) 事業									
予算科目	01-090104-11 水防訓練に要する経費					担当部課	消防本部地域消防課			
市長公約						係名	消防団係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（義務）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画	特になし					事業期間	毎年度			
根拠法令等	水防法					SDGs	11住み続けられるまちづくりを			

事業の概要

対象	消防団員
目的	水防活動において、消防団員が安全に迅速かつ的確な行動がとれるようにするため。
概要 (取組内容)	水防訓練への参加及び水防団体との連絡調整を行う。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	2,857	3,081	2,676	2,761	2,761	
	決算額	(千円)	474	2,188	2,299	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	474	2,188	2,299	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,759	2,141	2,788	2,788	2,788	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.40	0.30	0.40	0.40	0.40
		正職員時間外勤務	(時間)	10.00	40.00	10.00	10.00	10.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	訓練参加者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	実績	80.0	0.0	0.0	70.0	67.0	0.0
	指標の概要	利根川水系水防訓練、鬼怒・小貝水防連合体水防訓練					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		鬼怒・小貝水防連合体水防訓練では、前年度の開催事務局として、当該年度開催事務局と連絡、調整し、訓練に近代工法を取り入れ、開催時期も7月から6月に変更して実施することができた。
成果		5月の二組合水防訓練と6月の鬼怒・小貝水防連合体水防訓練に参加し、各種工法の技術の向上を図ることができた。
課題	業務	鬼怒・小貝水防連合体水防訓練開催日については、出水期に入ってしまうことや、地球温暖化により熱中症の危険もあるため、再度訓練開催日を調整していく必要がある。
	組織、予算等	5市町の連合体で実施している訓練のため、実施日の変更には構成市町や指導機関の日程調整が必要になる。
改善目標		開催日変更が可能であるか、構成市町と検討していく。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	